



## 3年連続、年100件以上発生 ～点検と情報確認で自転車の製品事故を防ぎましょう～

### 1. 事故の発生状況

2015年から2020年<sup>※1</sup>の間にNITEに通知のあった製品事故情報<sup>※2</sup>のうち、九州・沖縄8県で自転車による事故は合計33件<sup>※3</sup>ありました。

#### (1) 県別および年度別事故発生件数（表1）

表1 自転車による事故の県別および年度別事故発生件数（2015～2020年）

発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2015年	1	0	0	2	0	0	0	0	3
2016年	1	0	0	1	1	0	0	0	3
2017年	1	1	0	0	0	0	0	0	2
2018年	4	0	0	0	1	0	1	1	7
2019年	5	0	0	0	1	1	0	0	7
2020年	6	0	1	1	0	1	0	2	11
事故件数	18	1	1	4	3	2	1	3	33

※1: 2020年の数値は、詳細を確認中のため参考値とします。

※2: 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

※3: 重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

#### (2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 自転車による事故の県別および被害状況別事故発生件数（2015～2020年）<sup>※4</sup>

被害状況		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	重傷	11	0	0	2	2	2	1	1	19
	軽傷	3	0	0	2	1	0	0	0	6
物的被害	拡大被害	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	製品破損	3	0	1	0	0	0	0	2	6
被害なし		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		18	1	1	4	3	2	1	3	33

※4: 表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしません。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

## 2. 自転車事故の事故事例

(1) 2018 年 5 月（福岡県、20 歳代・男性、重傷）

### 【事故の内容】

自転車で走行中、チェーンが外れ、転倒し、負傷した。

### 【事故の原因】

使用者が、自転車のチェーンが著しくたるんだ状態で走行したためチェーンが外れ、急にペダルの抵抗がなくなって空転した際、バランスを崩して転倒したものと推定される。

なお、取扱説明書には、日常点検項目として、「チェーンがたるみすぎていないか。適正な遊びは中央部で 1.5cm であり、たるみが大きくなると走行時にチェーンが外れやすくなり危険であるため販売店で調整を受ける。」旨、定期点検として、「購入後 2 か月以内に初期点検を受ける。」旨、記載されている。

(2) 2018 年（沖縄県、40 歳代・男性、製品破損）

### 【事故の内容】

ネット通販で購入した折り畳み式自転車のペダルが破損した。

### 【事故の原因】

折り畳み式ペダル（ナイロン製）の製造時に一部のロットについて強度不足のペダルが混入したため、走行中にペダルが破損したものと推定される。

なお、事故品と同ロット及び別ロットのペダルについて、JIS 試験（ペダル先端部の静的強度試験）を行った結果、同ロットは不適合、別ロットは適合したが、ガラス繊維の含有量等を調査したものの、強度不足の原因は特定できなかった。

## 3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITE のロゴ」としてください。

### （本件に関するお問い合わせ先）

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
九州支所 担当者 矢代、原田

電話：092-551-1315 FAX：092-551-1329